

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和5年 3月 31日

事業所名 岐南さくら発達支援事業所 保護者等数(児童数) 41 回収数 29 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	2				・学習スペースと活動スペースを分け、環境を整えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	2				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	29					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	27	2				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	12	4		・コロナ対応があるので仕方がないかと思えます。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	12	8			・コロナ禍で、実施できていない。 ・保護者の意向を確認し、保護者同士の連携を図れるよう、開催の機会をもつ。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29					・コロナ対応があるので仕方がないかと思えます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	11				・活動予定表以外にも事業所での活動内容や、子どもたちの頑張り分かるような掲示を検討していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	28	1					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28		1			・契約時に説明している。 ・緊急連絡先を提出していただき、対応に備えている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	1			・避難訓練を行ったと子どもから聞いたことがない	・毎月、避難訓練を実施しています。翌月の予定表には記載しています。 ・避難訓練当日利用の場合は、記録しています。(継続実施)
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	28	1			・毎回とても楽しみに通っている。 ・よりどころが好きです。	
	18 事業所の支援に満足しているか	29				・家庭と違った一面を見ることができた。 ・子どもとともに、親自身も成長していることを実感している。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和5年 3月 31日

事業所名 岐南さくら発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		・学習スペースと活動スペースを分け、環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		・既定の人数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	定期的に、業務内容やケア会議を実施している。	参加できなかった職員には、口頭や回覧で周知している。今後もPDCAを徹底していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		・公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		・毎月、事業所内研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		・丁寧にモニタリングを行い、ダブルチェックを行い、計画を立案している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		・季節の行事を取り入れ、運動、ルール遊び、製作などプログラム編成を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		・スケジュール表を用いて、視覚的に分かるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		・毎朝、朝礼を実施し利用児の把握を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日朝礼を行い、確認をしている。午後からの勤務者には、申し送りしている。	変更事項等をノートに記録し、確認している。打ち合わせに参加していない職員には、周知を徹底していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	一日の振り返りをしている。	変更事項等をノートに記録し、確認している。振り返りに参加できない職員には、周知を徹底していく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	支援で大切にしたいこと、疑問に思ったこと等記録している。	日々の記録を継続し検証・改善につなげる。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		・学校と連携し、行事、下校時刻など情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		・必要に応じて連携を取っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		・必要に応じて連携を取っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	担当職員が参加している。	コロナ禍で対面の会議が難しい状況だった。地域会議へのご案内があれば、積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		・必要に応じて懇談を行い、児の様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明をしている。 わからないこと等には、丁寧な説明を心掛けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		・必要に応じて懇談を行い、児の様子を伝えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		・コロナ禍で活動が困難だった。保護者と連携して防災教育など実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		・毎年マニュアルを見直して避難訓練前や職員会議等で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		・避難訓練、防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		・虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。 ・虐待防止研修参加者が報告している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		・児童発達支援計画に明記し、保護者の同意を得てサインを頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		・随時、事案を検証し、ヒヤリハット事案をまとめ、事例を参考に安全対策を講じている。